

■ ストップ「コロナ・ハラスメント」アクションプランの学校での取組みについて



- 本県ではストップ「コロナ・ハラスメント」宣言を出し、感染した方を「思いやり」、最前線で治療や社会生活維持にあたる医療従事者や関係者の方々に「感謝」し、人との絆を大切にして、この難局を乗り越えることを呼びかけている。
- コロナ・ハラスメントは「不確かな情報に惑わされる」「悪意はないが、結果としてハラスメントにつながっている」など、いじめとは違う側面を持っており、学校においてもハラスメントを発生させないよう配慮することが重要である。

答弁)教育長(要旨)

- 感染発生時には、ハラスメントの防止にも配慮した適切な初動が重要。
- 県教育委員会では、発生後速やかにハラスメントに関する注意喚起を含めて児童生徒に情報を伝える手順を示し、各学校でもこれを踏まえたマニュアルを作成、感染拡大やハラスメントの防止に努めている。
- 従前の人権教育の取組みに加え、人権週間を中心にコロナ・ハラスメントに関する授業を行っている。
- さらに心のケアについても、6月の学校再開前から毎月実施している心のアンケート等を通じ、児童生徒の悩みをきめ細かく把握し臨床心理士等の専門家と連携して丁寧に支援している。今後も学校や市町村とも連携し取り組んでいく。

● 赤羽国土交通大臣が新丸山ダムを視察



令和2年10月19日、赤羽国土交通大臣が八百津町の新丸山ダムを視察。私も同行しました。既設ダムの機能を確保しながらダムの機能向上を行うダム再生事業の説明を受けました。いよいよダム本体工事に着手する運びとなり、関係市町長から早期完成を求める要望書が手交されました。



ご意見・ご要望・ご相談 お寄せ下さい

行政への要望や生活相談など、お気軽にお寄せ下さい。
法律相談のご紹介もします。
**TEL/FAX) 058-215-8195
E-MAIL) yoshmzn@gmail.com**



LINE QRコード

朝の街頭演説実施中!

以下の場所で、街頭演説を実施しています。
見かけたら声を掛けて頂ければ幸いです。



- 月曜日……国道256号線と環状線の「福光東2東」交差点 AM8:00～
- 火曜日……マーサ21前の「正木古川東」交差点 AM8:00～
- 木曜日……忠節橋を南進。西野町交差点 AM8:00～
- 金曜日……西岐阜駅前 AM7:30～

岐阜県議会議員

水野よしひか通信



岐阜県議会公明党

編集・発行 水野吉近 岐阜市鷺山南10-26 TEL)058-215-8195 E-MAIL) yoshmzn@gmail.com

2021.冬号

第31号



清流の国ぎふ



ごあいさつ

本県における新型コロナウィルス感染拡大第3波では、1月9日に105名の感染が確認され、1月14には政府から2回目の緊急事態宣言が発出されました。これにより、全ての飲食店に対し、20時～翌5時までの休業、19時～翌11時までの酒類の提供停止が要請されたところです。この間県からは、リスクを伴う飲食の自粛などの「県民の行動変容」、特措法第24条によるイベント等の開催制限、医療機関病床と宿泊療養施設合わせた療養施設の更なる確保などの「緊急事態対策」が講じられました。

一方で、不要不急の外出自粛による経済への影響は深刻となり、経営の危機や生活困窮を訴える皆様の声を連日頂いております。県知事選を終え、来年度の予算編成が本格化いたしますが、こうしたお声に寄り添いご要望の実現に向け取り組んでまいります。

今後もお気軽にご連絡頂くと同時に、引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

岐阜県議会議員 水野吉近

新型コロナワクチンの接種体制の構築急ぐ

政府は、米製薬大手ファイザー社が厚生労働省に薬事承認を申請しているコロナワクチンが承認された場合に、想定される接種体制について発表しました。

それによると接種は①医療従事者向け先行接種(約1万人程度)②医療従事者向け優先接種(400万人程度)③高齢者向け優先接種(3000万～4000万人程度)④その他の人(持病のある人などを優先)の順番で始めるとのことです。

①は2月下旬までに接種開始の予定。②は都道府県が接種体制構築の調整を行い、3月中旬の開始をめざす。③と④では、市町村が調整主体となり、接種券の発行などを行う。接種券が届いた人から受け取ることができ、高齢者らは3月下旬以降、その他の人は4月以降になる見込みです。(図は1/20時点)

県では1/12、県庁内に「ワクチン接種対策チーム」を設置。各保健所に市町村、関係機関と共にワクチン接種推進協議会を設置して、県内の円滑な接種体制の構築に取り組んでいます。

政府が想定するコロナワクチン接種への流れ

	2020年12月	21年1月	2月	3月	4月～
医療従事者向け 先行接種 (約1万人程度)		医療機関 との調整	超低温 冷凍庫配備		体制 確保※
医療従事者向け 優先接種 (400万人程度)		医療機関・関係 団体との調整	冷凍庫 配備など		都道府県が 調整主体
高齢者向け 優先接種 (3000万～ 4000万人程度)		医療機関との調整・ 接種会場の確保	冷凍庫 配備など		体制 確保※
その他の人 (持病のある人 などを優先)		接種券の発行準備・印刷	郵送		市町村が 調整主体
		接種券の発行準備・印刷	郵送		

厚生労働省資料を基に作成。※は時期のめど。優先順位は検討中の案に基づく



詳しくはコチラ

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口

県ではHPに新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口を紹介しています。

- ★「どこへ相談したらいいかわからない」
- ★「健康に関すること」
- ★「こころの悩みに関すること」
- ★「子どもや家庭に関すること」
- ★「新型コロナウイルスにより影響を受けている方々の暮らしと仕事の支援策」

などボタンをクリックしていくと、必要な相談先の連絡先や支援策にたどり着けるようになっています。



詳しくはコチラ